

サステナビリティボンド（第14回無担保社債）年次レポート

1. 調達資金の充当状況（2025年12月末時点）

サステナビリティボンド（第14回無担保社債）の調達資金につき、全額充当が完了致しました。
今後充当状況に大きな変化があった場合は、その旨を開示する予定です。

（単位：百万円）

プロジェクト（資金使途）	発行金額	充当済金額	未充当金額※3
①グリーン（適格車両※1の新規購入資金）	20,000	19,579	0
②ソーシャル（適格車載器※2の新規購入資金）		421	

※1 英非営利団体 Climate Bonds Initiative がグリーンボンドの適格性基準として定める、EU（欧洲委員会）が「EU タクソノミー」にて提示する乗車1人1kmあたりの走行によるCO₂排出量を下回るハイブリッド自動車（HV）、電気自動車（EV）及び燃料電池自動車（FCV）。

※2 高度な交通事故削減サポートなどを実現するために、株式会社デンソー、株式会社スマートドライブ等と共同開発したモビリティサービス「SMAS-Smart Connect」のデバイスである車載器。なお、将来、デンソー、スマートドライブ以外が「SMAS-Smart Connect」の共同開発先に加わり、「SMAS-Smart Connect」の新たなデバイスとして、当該社の車載器をソーシャル適格基準を満たす車載器に加える場合、既存のソーシャル適格基準を満たす車載器が有する安全運転推進に係る主な機能と同等の機能を有する車載器とする。

※3 現金及び現金同等物にて管理。

（1）グリーンプロジェクト

主な購入済車種（全て新車）

車種	メーカー
ノート	日産自動車
スペーシア	スズキ
プロボックス	トヨタ自動車

（2）ソーシャルプロジェクト

主な購入済車載器種類（2025年12月末）

- Advance / Advance Lite
- Basic
- SmartDrive Fleet
- SmartDrive Driverecorder
- SmartDrive AI

2. インパクトレポート (2025年12月末時点)

(1) グリーンプロジェクト

■環境改善効果

(単位:t-CO₂)

環境改善効果(CO ₂ 排出抑制量推計値)※	100,739
-----------------------------------	---------

※購入済適格車両の1km走行におけるCO₂排出量を元に算出したCO₂排出抑制量の推計値

<算出式>

$$CO_2\text{排出抑制量の推計値} = \sum_{n=1}^E A_n$$

A_n: 購入済適格車両 n の CO₂ 排出抑制量

$$= (B_n - C_n) \times D$$

B_n: 購入済適格車両 n と同クラスガソリン車の1km走行あたり CO₂ 排出量

C_n: 購入済適格車両 n の1km走行あたり CO₂ 排出量

D : 想定生涯走行距離 11万km (当社リース車両の平均生涯走行距離より)

E : 購入車両台数

(2) ソーシャルプロジェクト

■社会的インパクト

<アウトプット指標>

	2022年度 (累計)	2023年度 (累計)	2024年度 (累計)	2025年8月22日 ～2025年12月末 (装着実績)※
安全運転支援車載器の装着台数 (内、適格車載器の装着台数)	約136,100台 (74,642台)	約157,000台 (94,972台)	約175,600台 (109,245台)	7,436台

※サステナビリティボンド発行日以降、充当完了月末までの装着実績(支払日ベース、適格車載器のみ)。

<アウトカム指標>

RMS(リスクマネジメントソリューション)の主な活動実績

	2022年度	2023年度	2024年度
①RMS提供者数	21.6千名	56.0千名	51.4千名
②上記①のうち、安全運転講習受講者数	13.5千名	47.8千名	43.0千名
③上記①のうち、実車研修(ADST)受講者数	8.1千名	8.2千名	8.4千名

<インパクト>

- ・国内外の交通事故における「死者及び重傷者の撲滅」の実現に貢献すること

以上